

令和元年 第13回

川西市教育委員会（定例会）議事録

川西市教育委員会

| | |
|--------------|--------|
| 会議日程・付議事件 | 1 |
| 出席者 | 2 |
| 説明のため出席を求めた者 | 3 |
| 議事録作成者 | 3 |
| 会議の顛末（速記録） | 4 ~ 13 |

会議日程・付議事件

会議日時 令和元年9月18日(水) 午後2時00分

場 所 川西市役所 4階 庁議室

| 日程 番号 | 議案 番号 | 付 議 事 件 | 備 考 |
|----------|----------|------------|--------|
| 1 | | 議事録署名委員の選任 | |
| 2 | | 前回議事録の承認 | |
| 3 | | 事務状況報告 | |
| 4 | | 諸報告 | |

出席者

教 育 長 石 田 剛

委 員 加 藤 隆一郎
(教育長職務代理者)

委 員 服 部 保

委 員 坂 本 かおり

説明のため出席を求めた者

| | |
|--------------------------------------|---------|
| 教 育 推 進 部 長 | 若 生 雅 史 |
| こ ども 未 来 部 長 | 中 塚 一 司 |
| 教 育 推 進 部 副 部 長 | 中 西 哲 |
| 教育推進部副部長（学校教育担当） | 山 戸 正 啓 |
| 教育推進部参事（学務課担当） | 森 下 宣 輝 |
| こ ども 未 来 部 副 部 長 | 岡 本 敬 子 |
| こども未来部参事（幼児教育保育課担当） | 喜多川 昌 之 |
| 教 育 総 務 課 長 | 岸 本 典 子 |
| 学 務 課 長 | 志 波 仁 史 |
| 学 校 教 育 課 長 | 高 橋 忠 大 |
| 教 育 支 援 セ ン タ ー 所 長 | 岡 坂 憲 一 |
| 社 会 教 育 課 長 | 大屋敷 美 子 |
| 社会教育課主幹兼文化財資料館長 | 田 中 肇 |
| 中 央 図 書 館 長 | 村 山 尚 子 |
| 川 西 公 民 館 長 | 藤 井 恵 子 |
| こ ども 支 援 課 長 | 岩 脇 茂 樹 |
| 幼 児 教 育 保 育 課 長 | 増 田 善 則 |
| こども・若者ステーション所長兼 青 少 年 セ ン タ ー 所 長 | 木 山 道 夫 |
| 公 共 施 設 マ ネ ジ メ ン ト 課 長 | 林 正 紀 |

議事録作成者

| | |
|---------------|-----------|
| 教 育 総 務 課 主 査 | 四 方 田 政 樹 |
|---------------|-----------|

[開会 午後 1 時 5 9 分]

石田教育長 それでは、只今より、令和元年第 1 3 回川西市教育委員会（定例会）を開会いたします。

石田教育長 それでは、「本日の出席者」をご報告いたします。本日は、治部教育委員が欠席でございます。なお、「事務局職員の出欠」につきましては、事務局から報告をお願いいたします。

教育総務課長
（岸本） 本日の「事務局職員の出欠」について、ご報告申し上げます。
本日は、全員出席でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

石田教育長 次に、本日の「議事日程」につきましては、配付しております議事日程表のとおりであります。

石田教育長 これより日程に入ります。日程第 1 「議事録署名委員の選任」を行います。教育長において、服部委員、坂本委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

石田教育長 では次に、日程第 2 「前回議事録の承認」でございますが、事務局において調製し、第 1 2 回定例会の議事録の写しをお手元に配付しております。事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長
（岸本） それでは、第 1 2 回定例会の議事録につきまして、ご説明申し上げます。
1 ページに会議日程・付議事件、2 ページに出席者を、3 ページに説明のため出席を求めた者、4 ページに審議結果を掲載してございます。議事録につきましては、5 ページからでございます。会議次第に基づきましてご審議いただきました経過等につきまして、調製させていただいております。

署名委員の署名につきましては、加藤委員、服部委員にご署名を頂戴しております。

以上でございます。

石田教育長 説明は終わりました。只今の説明について、質疑はございませんか。よろしいですか。

石田教育長 それでは、お諮りいたします。第 1 2 回定例会の議事録につきまして、

これを承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声)

石田教育長 ご異議なしと認めます。よって、議事録につきましては、承認されました。

石田教育長 では次に、日程第3「事務状況報告」であります。事務局から報告をお願いいたします。

教育推進部長
(若生) それでは、教育推進部から9月市議会一般質問について、ご報告させていただきます。

9月4日から6日にかけて16人の議員がご質問に立たれ、うち8人の議員から教育推進部所管事業について、3人の議員からこども未来部所管事業についてご質問がありました。

教育推進部関連では、歴史資料等のデジタル化等について、部活動のあり方に関する方針について、PTAあり方検討会について、学校運営協議会のあり方について、教育委員会定例会のあり方について、学校体育館へのエアコン設置について、地域分権と住民自治を進めるための公民館の活性化について、センター調理方式での中学校給食の課題について、公的施設に「みんなのトイレ」を順次設置していくことについて、スクールソーシャルワーカーの活用実態と今後についてなどのご質問をいただきました。

こども未来部関連では、森のようちえん実施における行政支援について、子育てを応援できるまちづくりを進めることについてなどご質問をいただきました。

いろいろな視点からご質問、ご提案をいただき、今後、検討を重ねてまいります。

報告は以上でございます。

こども未来部長
(中塚) 続きまして、こども未来部から、2点目の保育所・認定こども園・幼稚園等の令和2年度入所・入園希望児童の受け付けについてご報告申し上げます。

市の広報誌「milife」9月号に掲載いたしましたとおり、市立・民間の保育園所と認定こども園並びに小規模保育事業所の2号・3号認定園の入所・入園申込書類を、幼児教育保育課において9月2日月曜日から配布いたしております。

入所・入園を希望される方は、11月15日までに幼児教育保育課へ申込書類を提出いただき、その後入所選考を進めてまいります。

連日多くの市民の方が窓口にお越しになっておりますが、締め切りまでには1,000人以上の申し込みを見込んでおり、職員は丁寧な対応に努めておるところでございます。

市立幼稚園と市立認定こども園の1号認定園児は、各園で10月2日に募集説明会を開催いたします。説明会当日と翌日3日の2日間、願書を配布し、10月9日と10日に願書を受け付けいたします。

なお、民間の認定こども園1号園児の募集説明会や願書の配布・受け付けは、それぞれ各園で行うこととなっております。

また、10月から幼児教育・保育の無償化が開始され、全ての3歳から5歳の子どもと住民税非課税世帯のゼロ歳から2歳の子どもの保育料が無償化されます。

市民の皆様には広報誌等で周知してまいりましたが、今月下旬には保育所や幼稚園などに通われている無償化の対象者の皆様へ、市または各施設から無償化の実施についてご案内いたします。

今後、引き続き丁寧な説明に努め、無償化の円滑な導入と来年4月に向けた入所・入園の手続を進めてまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

教育推進部長
(若生)

続きまして、3点目、8月分の教育委員の皆様方の活動についてご報告いたします。

加藤委員には、神戸市において行われた全県夏期教育委員研修会にご出席いただきました。

服部委員には、川西市教育委員会里山フィールド研修の講師として、市内小学校教員に4年生の里山体験学習に必要な情報をご提供いただきました。また、兵庫県の自然環境課野生生物等専門委員会(植物群落)において、川西市の台場クヌギ林、エドヒガン、ブナ林をレッドリストに記載することをご確認いただいたほか、兵庫県豊かな森づくり課の兵庫県森林ボランティア講座の講師として、川西市の伝統的里山と先進的里山の重要性及びそれら里山での3、4年生の体験学習について、また、兵庫県農産園芸課の猪名川町における兵庫県果樹研究会くり研究大会の講師として、川西市の伝統的里山と猪名川流域のちまきについてご解説いただきました。

坂本委員には、教育支援センター主催の研修、神戸市にて行われた全県夏期教育委員研修会、日本PTA全国研究大会伊丹分科会及び全体会、川西明峰高校SDGsカードゲーム勉強会などにご出席いただきました。

治部委員には、レフネックオープン講座「障害のとらえ方」、神戸市にて行われた全県夏期教育委員研修会、教育支援センター主催の研修及びこども未来部との保育環境に係る協議にご出席いただきました。

主なものではございますが、ご報告させていただきます。

以上でございます。

石田教育長 只今の報告について、ご質問はございませんか。よろしいですか。

石田教育長 それでは、各委員のほうから活動された中で心に残ったもの等がありましたら、また報告いただいでいきたいと思ひます。

加藤委員 いや、別に。

服部委員 今回、4年生の里山体験学習の先生方の講師として一日山の中を歩いたんですけれども、やっぱり先生方は余り情報を持っておられないので、なかなか子どもたちに伝えられないというところがあったと思うんですけれども、そういうふうにごちらが情報を提供しますと、先生方はよく理解していただいで、来年度以降それを積極的に利用していただけるような感じになったと思ひます。

以上です。

石田教育長 ありがとうございます。

坂本委員 夏休みはいろいろ行かせていただいたので、ここでご報告させてもらいます。

8月23日、24日に日本PTA研究大会というのが、全国のPTAの人が兵庫県に集まるという大会のほうで、1日目に、県内10地域で分科会をしているんですけれども、私は伊丹分科会のほうに出席させていただきました。仲島正教先生という方がご講演されたんですけれども、その中で、教育とはきょう行く。きょうその場で、何かがあったらばすぐに行くということをお大切にしているという話を聞きました。何かがあるところで、おおい何とかという声をかけるんじゃなくて、困っているところにまず足を運ぶということがすごく大事なことですよということとか、心の貯金がいっぱいにならないと人に優しくできないとか、教育を考へる立場として大切しないといけないなということと、保護者として大切にしなないといけないなということをおぼせていただきました。

川西市PTA連合会のほうは、丹波篠山地区の分科会に出席されたそうで、100ます計算の陰山先生のお話を聞いてこられたみたいです。リラックスすることが大事で、そのリラックスが集中力の土台になるという話を聞いてきたそうです。

次の日は全体会ということで、8,000人規模の方が来られた大会なんですけれども、メンタリストDaiGoってご存じですか。心理学をベースにいろんなことをお話しされる方なんですけれども、本当にいろんな情報をわかりやすく説明されていて、親の育て方で子どもの性格が変わるかというのをまず聞かれたんですけれども、それはたった6%しかなくて、遺伝子が50%で、友達関係が46%ということで、そのかわる人がすごく大事だという話になっていました。いろいろな本当に子育てに役に立つようなお話をいっぱい聞かせていただきました。

それと、8月30日に川西明峰高校でSDGsカードゲームの体験会がありましたので、出席させていただきました。PTAの方と明峰高校の先生と伊丹市の教育委員会さんと川西の教育委員会に声をかけてくださったんですけれども、本当にカードゲームなんですけれども、やっているうちに何でSDGsがこの私たちの世界に必要なのかというのを、2時間ぐらいの体験で感じられるという、本当に有意義なカードゲームを体験させていただきました。それがどんな形で川西の子どもたちとかにかかわれるかちょっとまだわからないところがあるんですけれども、SDGsのカードゲームをすることにより、持続可能な開発の目標みたいなところの視点を得ることができるんじゃないかなと思いました。

それで、何が言いたいかといいますと、立場とか公私とかを超えているんなものを交差しながら学べるということがすごくいいなと思いましたので、もしご興味のある方は川西明峰高校とかに言ってもらったら、また体験会ができるようなことをおっしゃっていましたので、ご報告させていただきます。

石田教育長

ありがとうございます。

そのカードゲームはあれやね、何か資格が.....

坂本委員

要るんです。

石田教育長

そうでないとできないという。

坂本委員

そうなんですよ。

石田教育長

その方が中心になってやらないかん。

川西明峰高校は、ご存じかどうか、ユネスコに認定される高校ということで、カリキュラムをきちっと整理する中でSDGsにちょっと近づいて研究されているということですので、また、学校教育だけじゃなくて幼児教育や社会教育でSDGsについてはちょっと興味を示していただけたらなというふうに思っています。

私のほうは3点ありまして、1点は、川西市で行われました外国語研修、坂本委員も来ていただいていますけれども、ここにおられる方も英語得意な方、そうでない方もおられると思うんですけども、全国学力・学習状況調査の中学3年生の問題がどれだけ難しいか。学校を表すピクトグラム、何か影絵みたいなやつね、2つあるんですけども、そのどちらかを選んで、そのよさを対比しながら述べよという、それを25個以上、25の単語以上で書きあらわせということで、できないでしょう。私実際参加してやりましたけれども、こっちのほうがいい。まずはどっちのほうがいいかを選んで、それを対比させながら英語で述べるというのは、すごく中3生にとっては難しく、実際、正解率は2%か3%ぐらいしかなかったんですけども、だから、問題のよしあしが問われることなんです。

ただ、これからもやっぱり外国語で求められるのはそういう形やということで、大学入試も変わるということなんですけれども、それぐらい難易度の高い、いわゆる反復練習だけでは得られないような力がやっぱり必要なやというのが非常に心に残りました。さっきありました全国夏期教育委員研修会でも外国語の話がありまして、その中での話とちょっとリンクして、非常に興味がありました。

2つ目なんですけれども、また、前回ちょっと協議いただきました子ども自主活動、この件もあって、それもあるし、ちょっと私も市内の公立高校とやっぱりもうちょっと連携して取り組んでいく必要があるんじゃないかなというのを強く思っています。

ご存じのとおり、市内の公立高校については定員割れ等ちょっと厳しい状況が続いている中で、やはり地元の公立高校を活性化させるために教育委員会としても何か協力できることがないかということで、行かせてもらっています。非常に高校の校長先生方も危機感を持っておられて、何か協力できることとか一緒にやれることはないかなということで、協力を考えています。また、それぞれの部署で高校とかとの連携とか、高校生の活躍の場を考えていただけたらありがたいかなというのは聞いているんです。

3つ目ですけれども、この間ありましたPTAあり方検討委員会で印象

に残ったことは、1つは、制度を変えていくということ、単年度の場合、PTAの役員にさせていただくのは非常に負荷がかかるのかなというのをすごく感じています。今、社会教育課が中心に非常に連動してやっているのはいいんですけども、やっぱり学校長のリーダーシップとか、それから幼稚園長のリーダーシップであるとか、そういう学校を管理する者のリーダーシップが必要なんだなというのを感じたのが一つと、非常に今、会議がいろいろ前向きな意見を出していただいているんですけども、やっぱりそれは連合PTAの協力が大きいんじゃないかなというように思っています。最後のほうで会長がちらっと言われていましたけれども、連合PTAとしてもいろいろ悩みながら進まれている。その中でモデルを考えながら提示されているということ、これを大事にしてほしいと思っています。

これは、社会教育が所管しているんですけども、当たり前ですけども、学校教育も関係していますし、幼児教育保育課も関係していますので、やはりその辺の情報共有を教育委員会事務局内でも共有しておかないとだめだなというのを改めて感じました。

以上です。

石田教育長 それでは、事務状況報告については以上とします。

石田教育長 では次に、日程第4、諸報告であります。「令和元年度公民館講座案内（後期）」について事務局から説明をお願いします。

川西公民館長
（藤井） それでは、諸報告1「令和元年度後期公民館講座案内」につきましてご報告させていただきます。

お配りしております令和元年度後期公民館講座案内の冊子をご覧ください。

「～出会い ふれあい 学びあい～学ぶ喜び いきいき人生」をテーマに、令和元年度の後期では10公民館で83講座、延べ103回を掲載しております。

それでは、主な講座を紹介させていただきます。

表紙の裏側、1ページ、2ページの「分野別もくじ」をご覧ください。

家庭教育・家庭生活の分野におきましては、育児・保育・しつけからその他まで、親子講座や冬の野鳥観察会など、7分野17講座を開催いたします。

現代的課題分野におきましては、自然保護・環境問題から同和問題・人権教育まで世界遺産や「多文化共生のまちとは」など、6分野15講座を

開催いたします。

市民意識分野におきましては、郷土の歴史や産業、自然を知る講座、地域の特産物を使った料理教室など、5分野8講座を開催いたします。

体育スポーツ分野では、合気道ミニ講座など、2分野4講座を開催いたします。

趣味・けいこごとの分野におきましては、音楽から芸能まで、能鑑賞講座、こども将棋教室など、8分野で19講座を開催いたします。

一般教養の分野におきましては、パソコン教室・IT講習から自然科学まで、古典文学講座や歴史講座など、4分野20講座を開催いたします。

また、その下にありますが、川西の自然、歴史、文化、産業、地域の特性などを学んで、我がまちに一層誇りと愛着を持っていただくための講座や登録グループの学びを地域にも広げる「川西まちづくり講座」につきましては、22講座を開催いたします。黒川公民館の「水辺の生きものしらべ」を初め、川西南公民館での地域特産でスイーツづくりなど、本市の歴史や産業などをテーマにしております。また、川西南公民館の登録グループ活動体験会、東谷公民館の「人形劇フェスタ」など9講座は、登録グループによるもので、地域に登録グループの学びを還元していただくものとなっております。

講座の企画に当たりましては、受講者にアンケートを実施し、ご要望やご意見等を参考に各公民館で企画しております。

続いて、3ページから21ページには公民館別に講座の内容を掲載しております。また、22ページには、11月に各公民館で開催する文化祭・文化のつどいを掲載しております。登録グループによる作品展や発表会など、地域の団体や登録グループと連携して、工夫を凝らして行っている一大行事でございます。

教育委員の皆様にはまた改めてご案内いたしますので、お時間の許す限りご覧いただければ幸いです。

この後期の公民館講座案内は、4,700部作成しており、各公民館、市役所の案内カウンター、中央図書館を初め公共施設の窓口に置き、ホームページにもPDFを掲載しております。

各講座の開催前には広報誌への掲載、チラシ等の作成、講座によりましては学校への案内、ホームページを通じてPRに努めているところでございます。

以上で報告を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

石田教育長

只今、説明がありました。何かご質問やご意見ございますでしょうか。

坂本委員 前期のほうで何個か見させていただいたんですけれども、本当に熱心に学ばれていて、活気ある公民館活動だなと思って見させていただいたんですけれども、やっぱりそれが個人の学びになるんでなく、地域にどんどん還元されるような仕掛けがあると、さらによいのかななんて思っているのと、実験講座とか、PTAでもやっているんですけれども、重なってくる部分があるので、積極的なアナウンスがあったりとかすると、やっぱり所属の学び学びが単独である感じがするので、重なり合いながら学べると多面的に学べるんじゃないかなと思います。

石田教育長 ありがとうございます。毎回提出される課題ではありますので、どう社会に還元するかとかね。
ほか。

服部委員 今回見せていただいて、たくさんの講座をきっちりと体系的にやっておられるのすごいと思うんですけれども、僕は伊丹に住んでいて、伊丹の中身というのは大体こんなものかなとわかるんですけれども、ほかの市と比べてこういう講座の数とか質はどうでしょうか。

川西公民館長 (藤井) ほかの市と比べたことはないんですけれども、私が知っている、質とかもちょっとはかり知れないものがありますので、分量的にも、まず公民館の数が全然違うのと、伊丹さんでしたら1つしか公民館がなく、うちは10館ありますので、人口に対しては講座は多いかなと私は思っているんですけれども。

服部委員 都市間競争で、公民館のこういう活動も都市の魅力を上げるのには物すごく大きな要素だと思うので、その裏づけの資料みたいなのがあったらいいなとちょっと思いました。

石田教育長 以前、公民館のあり方を考えていく中で、一定いろんな数字を出してもらったみたいなこともあるので、また協議会等で実施していただいてもいい。

先ほど服部委員おっしゃったように、川西市は人口の割に非常に公民館が多くて、これは、この間一般質問で出ていましたけれども、公民館の有効活用みたいなものは大事にしていかなあかんかなと思っています。りんどう学園の方も結構、そういう公民館活動については川西の特徴じゃない

かと言ってはいただいています。服部委員、よろしいですか。

服部委員 はい。

石田教育長 それでは、諸報告については以上とします。

石田教育長 では、以上で本日の議事は全て終わりました。
 次回の定例教育委員会は、10月17日木曜日午後2時から、庁議室に
 て開会の予定です。

石田教育長 これをもちまして、第13回川西市教育委員会（定例会）を閉会いたし
 ます。ありがとうございました。お疲れさまでした。

[閉会 午後2時23分]

以上会議の事項を記録し、相違ないことを認めましたので、ここに署名いたします。

令和元年10月17日

署名委員 服 部 保

坂 本 かおり